

多治見市役所新庁舎建築設計 基本設計書 【概要版】

令和 8 年 1 月



目次

計画テーマ・コンセプト	・・・P01～02
計画概要	・・・P03
配置計画	・・・P04
平面計画	・・・P05～06
断面計画	・・・P07
外観計画	・・・P08
環境配慮計画	・・・P09
防災計画	・・・P10
概略スケジュール・概算工事費	・・・P11

「市民が主役」人とまちをつなぎ、にぎわいを発信する新庁舎

基本理念 「住み続けるまちの行政サービス拠点」

新庁舎と現在の駅北庁舎から構成される新しい庁舎体制は、いつまでも「住み続けたい・住み続けられる」まちとして、「市民が主役」のまちづくりを進めていくための行政サービス提供、政策実行の拠点となるものです。

基本方針1

行政サービスの中心としての庁舎

新庁舎・現駅北庁舎の2棟で本庁舎とし、市民サービス・窓口機能の充実と職員の生産性向上を図ります。 ⇒P04,05,06

基本方針2

災害対応の最重要拠点としての庁舎

市民の安全・安心を支える庁舎として防災拠点に必要な機能を整備します。 ⇒P02,03,06,10

基本方針3

中心市街地における核としての庁舎

駅周辺施設と一体的な整備とし、駅周辺のにぎわいを生み出し、多くの人々が利用しやすい施設とします。 ⇒P02,04,08

基本方針4

虎渓用水広場と一体的なにぎわい創出

虎渓用水広場を新庁舎の前庭とし、多くの人々が利用するにぎわい空間とします。 ⇒P02,05,08

基本方針5

庁舎の柔軟性と多目的利用

永く使い続けられる庁舎として柔軟性に富んだ空間とします。 ⇒P02,05,06

基本方針6

経済性に優れた庁舎

財政負担とのバランスを考慮しつつ、環境性に配慮したシンプルかつ高機能で経済的な施設とします。 ⇒P03,07,09

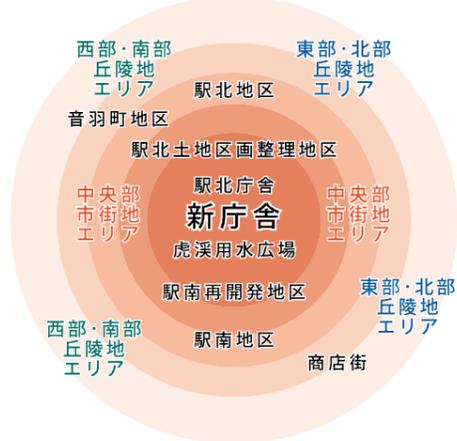


鳥瞰イメージ（北側よりみる）

虎溪用水広場と一体的なにぎわいの創出

① 庁舎建設がまちにもたらす影響

「にぎわい創出・発信拠点」機能を有した庁舎建設により、ネットワーク型コンパクトシティにおける中心拠点として中心市街地の活性化を促し、まちを元気にします。中心市街地の活力は周辺エリアへ様々な好影響を与えます。



- 好影響を与える指標の例示
- ・人口密度の増加
 - ・昼間人口の増加
 - ・土地の付加価値の上昇
 - ・商業集積の進展
 - ・交通結節点機能の向上
 - ・土地利用の高度化
 - ・公共交通の利用促進

② 1階多目的空間の位置づけと狙い

JR多治見駅は様々な人々が行き交う中心市街地における核であり、交通の結節点です。立地特性を活かした新庁舎1階の多目的空間は、市民をはじめとする市内外からの人々が訪れることで、新たな交流が始まり、まちづくりへの参画のきっかけとなり、やがて地域の活性化につながります。また、災害時の一時待避所としての活用も期待されます。



③ 1階多目的空間の機能

多世代の市民、市内外からの来訪者が集うことにより、新庁舎1階の多目的空間と虎溪用水広場が機能的、空間的に連携し、にぎわい・交流の拠点となります。



《 敷地概要 》

- 計画地 : 岐阜県多治見市音羽町1丁目227番地 外7筆
- 敷地面積 : 9,557 m²
- 用途地域 : 商業地域 (市街化区域)
- 防火地域 : 指定なし、法22条区域
- 建ぺい率 : 80%
- 容積率 : 400%

《 建築計画概要 》

- 主要用途 : 事務所 (庁舎)
- 建築面積 : 2,280 m² (接続通路等を含む)
- 延床面積 : 8,070 m² (接続通路等を含む)
- 建物高さ : [新庁舎] 26.1m
- 階数 : [新庁舎] 地上5階+塔屋1階
[接続通路1・2] 地上2階 [通路屋根] 地上1階
- 構造 : [新庁舎] 鉄骨造+直接基礎 (基礎免震構造)
[接続通路1・2] 鉄骨造+杭基礎 [通路屋根] 鉄骨造+直接基礎

《 構造計画概要 》

- 耐震性能
 - ・国土交通省「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に準じ、「耐震Ⅰ類」の耐震性能を確保する計画とします。
- 構造形式
 - ・大地震時においても、地震後直ちに災害拠点として機能するよう建物の機能維持が可能な「免震構造」を採用します。
- 構造種別
 - ・柱が少なく将来の組織改編に対応しやすい鉄骨造大スパン架構の構造躯体を採用します。

《 環境計画概要 》

- 省エネルギー
 - ・市民サービスや執務環境の快適性を確保しながら、年間一次消費エネルギーを50%以上削減する、省エネに配慮したエコ庁舎 (ZEB Ready 相当) (※1) とします。
- カーボンニュートラル
 - ・内外装仕上には木質材料や再生材料などのエコマテリアルを積極的に採用し、多治見らしさや心地よさを感じられる庁舎を実現しながらカーボンニュートラルにも貢献できる計画とします。

※1 ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) とは、快適な室内環境を実現しながら年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建物の総称。その収支を100%削減したものを「ZEB」、75%以上削減したものを「Nearly ZEB」、50%以上削減した建物を「ZEB Ready」と呼びます。

《 電気設備計画概要 》

- 電灯設備
 - ・積極的な昼光利用を図ると共に、執務室はタスクアンビエント照明 (※2) による消費電力低減に配慮した計画とします。
- 受変電設備
 - ・屋上に屋外型キュービクルを設置し、庁舎内へ電源供給を行います。
- 非常用発電設備
 - ・災害対策拠点としての庁舎機能を確保する目的から、発電設備を設置します。
 - ・燃料は3日間連続運転が可能な容量を備蓄する計画とします。(電気の復旧に3日を要すると想定)
- 太陽光発電設備
 - ・屋上に太陽光発電パネルを設置し、庁舎内電源系統と接続します。
 - ・非常時には自立運転機能により、専用コンセントへの電源供給が可能な計画とします。
- 誘導支援設備
 - ・主要な出入口には、目の不自由な方のための音声誘導装置を設置します。
- 情報表示設備
 - ・庁内の各所にデジタルサイネージを設置し、紙資源の削減と効率的な情報提供を可能とする計画とします。

《 機械設備計画概要 》

- 熱源設備
 - ・コスト、制御性、メンテナンス性、省エネルギー性等を考慮し、中央熱源は、空冷ヒートポンプチラーを採用します。
- 空調設備
 - ・執務室は、ライフサイクルコストや快適性等を考慮し、天井放射型空調方式を採用します。
 - ・1階「市民リビング」(※3) は、快適性や施工性を踏まえ、床放射型空調方式を採用します。
 - ・その他の室は個別空調方式を採用し、高効率なEHP・GHPのベストミックスにより省エネルギー化を図ります。
 - ・災害時のリスクを考慮し、災害対応室の空調機は自家用発電機からの給電を可能な計画とします。
- 換気設備
 - ・外気導入に外調機や全熱交換機を使用することで、空調設備の処理負荷を低減し、省エネルギー化を図ります。
- 給水設備
 - ・断水、停電時も給水可能な受水槽加圧給水方式を採用します。
 - ・上水は災害後7日間の使用が可能な容量を確保します。
- 排水設備
 - ・災害時の下水本管トラブルに備え、免震ピット内に緊急排水槽を設け、7日分の汚水を貯留できる計画とします。
- 雨水利用設備
 - ・屋上の雨水を集水し、平常時・非常時共に庁内のトイレ洗浄や植栽散水などに利用可能な計画とします。
- 昇降機設備
 - ・利用形態に適した輸送能力を有し、バリアフリーに対応したエレベーターを計2台設置します。
 - ・内1台は、荷物の搬出入や体調不良者のストレッチャー移動に対応可能なエレベーターとします。

※2 タスクアンビエント照明とは、「タスク (作業面)」に必要とされる作業照度を重点的に確保しつつ、「アンビエント (周辺面)」は安全性や快適性に必要な照度で照明する、機能分離型 (適所適光) の照明設計手法を指します。

※3 「市民リビング」は1階多目的空間の仮称であり、今後変更する可能性があります。

■ 配置計画

● 配置計画

- ・新庁舎は前庭となる虎渓用水広場と向かい合うように南北に長い配置とし、広場との一体感に配慮します。
- ・虎渓用水広場から建物をセットバックすることで、広場への圧迫感低減に配慮します。
- ・隣接する駅北庁舎やJR多治見駅を接続通路でつなぐ計画とし、周辺施設からのアクセス性に配慮します。

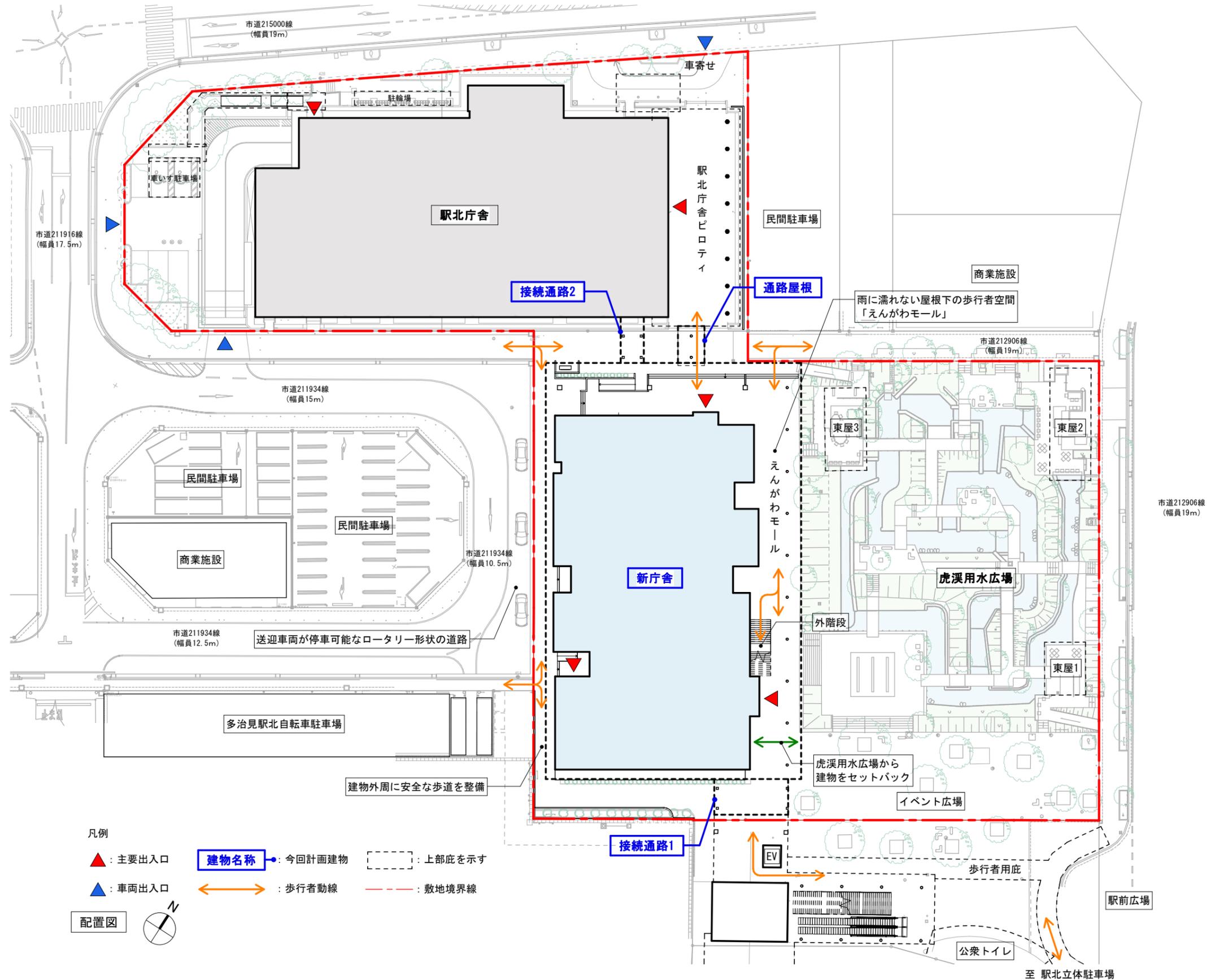
● 歩行者動線計画

- ・虎渓用水広場と新庁舎との接点に、ゆとりある幅員を確保した屋根下の歩行者空間「えんがわモール※」を設け、雨に濡れない快適なアプローチを整備します。
- ・「えんがわモール」をはじめとする新庁舎の外周に歩道を整備し、すべての方向からアプローチしやすい開かれた庁舎とします。
- ・JR多治見駅からは、接続通路によりスムーズに新庁舎2階にアクセスでき、さらに外階段で「えんがわモール」とも往来可能な計画とします。

※「えんがわモール」は仮称であり、今後変更の可能性があります。

● 車両動線計画

- ・駐車場は駅北立体駐車場や駅北庁舎地下駐車場を活用し、車寄せは駅北庁舎の既存の車寄せを利用するなど、既存施設を有効に活用する計画とします。
- ・新庁舎へのアプローチについては、雨に濡れない安全なルートを整備します。
- ・JR多治見駅利用者や庁舎利用者などの送迎車両は、新庁舎西側の歩道に面する市道に停車可能な計画とします。

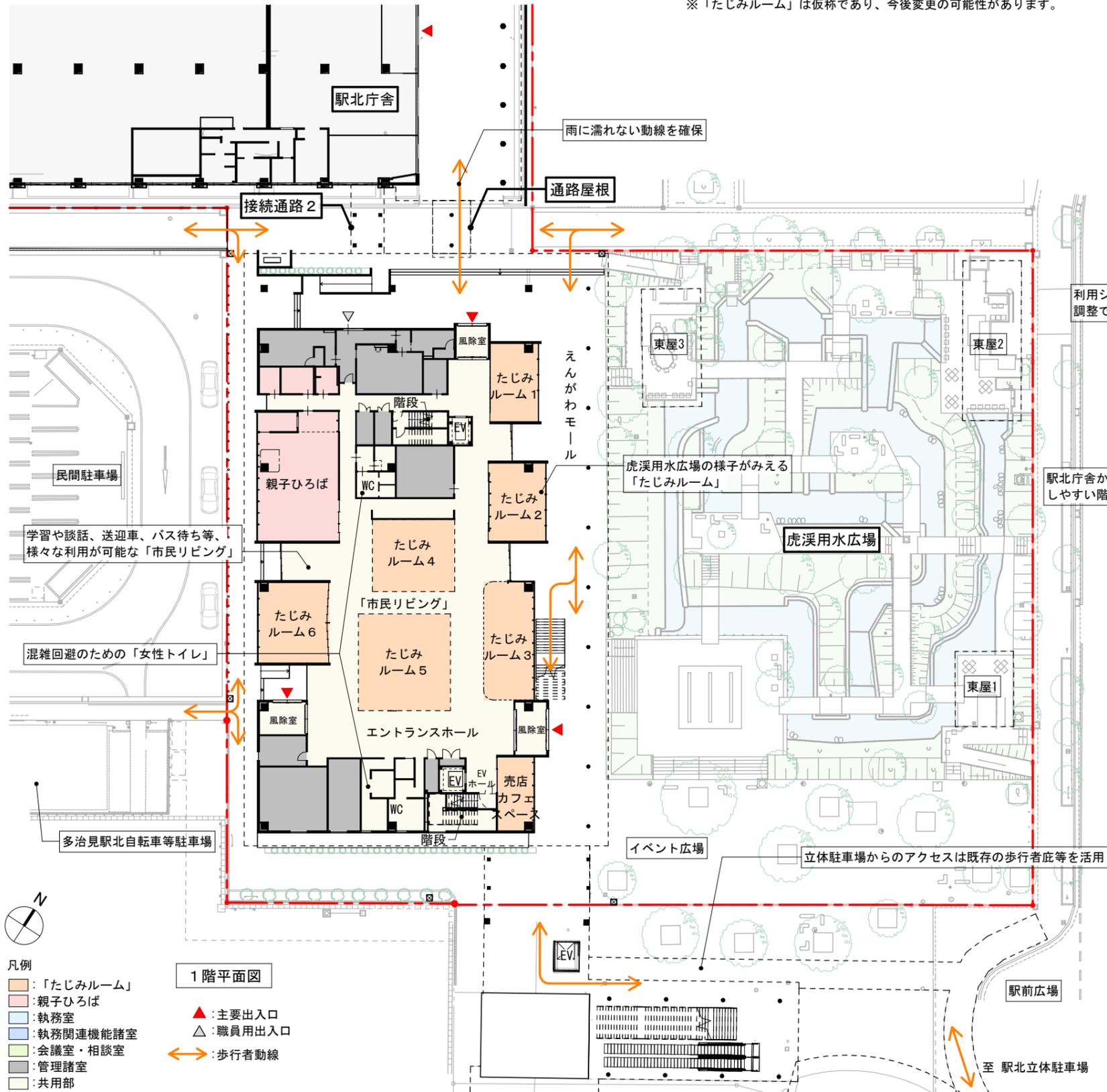


■ 平面計画（1階、2階）

● 1階多目的空間「市民リビング」

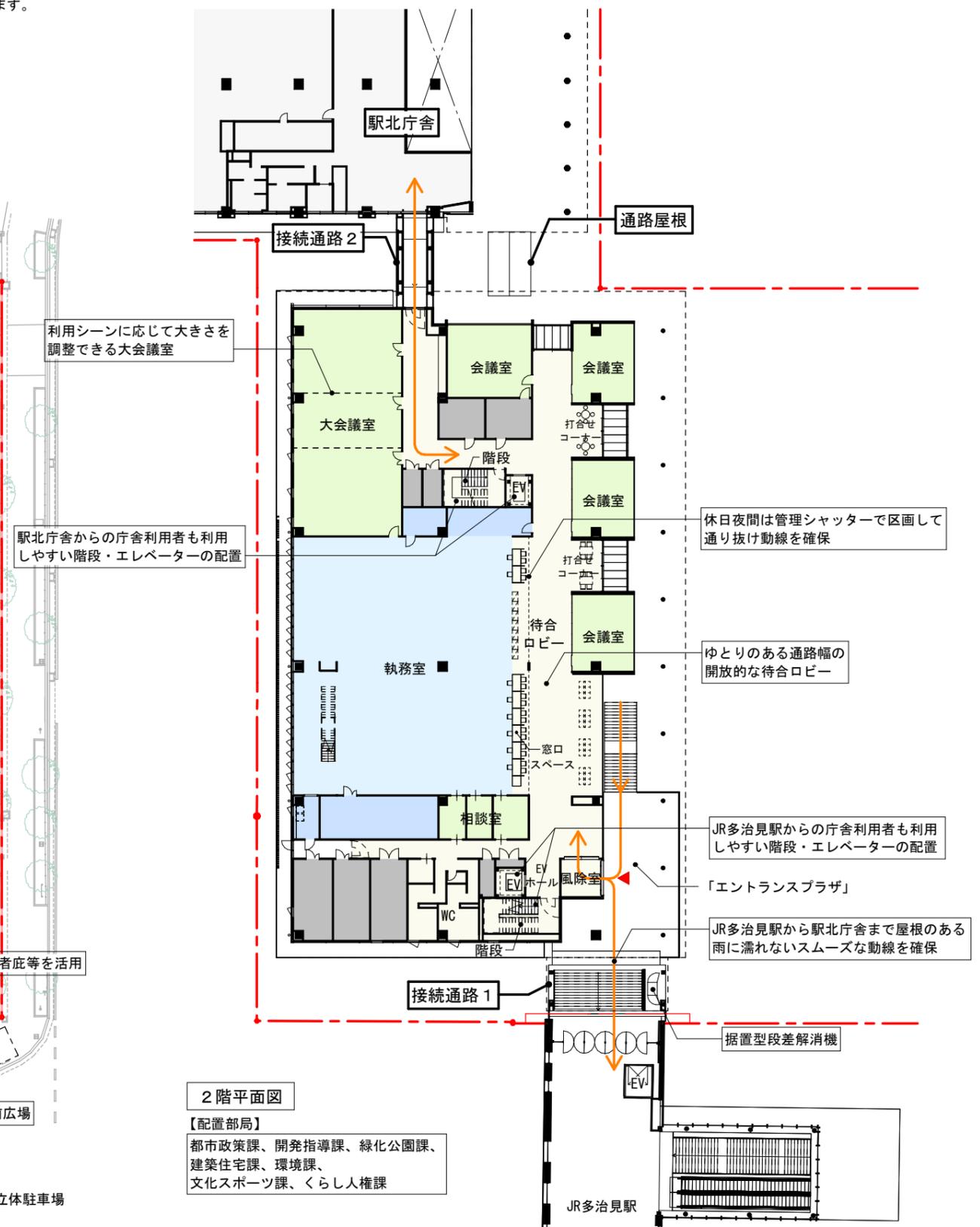
- ・虎渓用水広場に面し、多くの人が行き交う1階は、にぎわい創出・発信拠点と位置付け、多世代が交流できる多目的空間「市民リビング」として整備します。
- ・「市民リビング」には、あらゆる方向からアクセスしやすい複数の出入口と、様々な市民活動を可能とする「たじみルーム※」を設けます。
- ・「市民リビング」の一角には、子育て世代の利用に配慮した親子ひろばを設けます。

※「たじみルーム」は仮称であり、今後変更の可能性があります。



● 利便性の高い窓口・待合空間

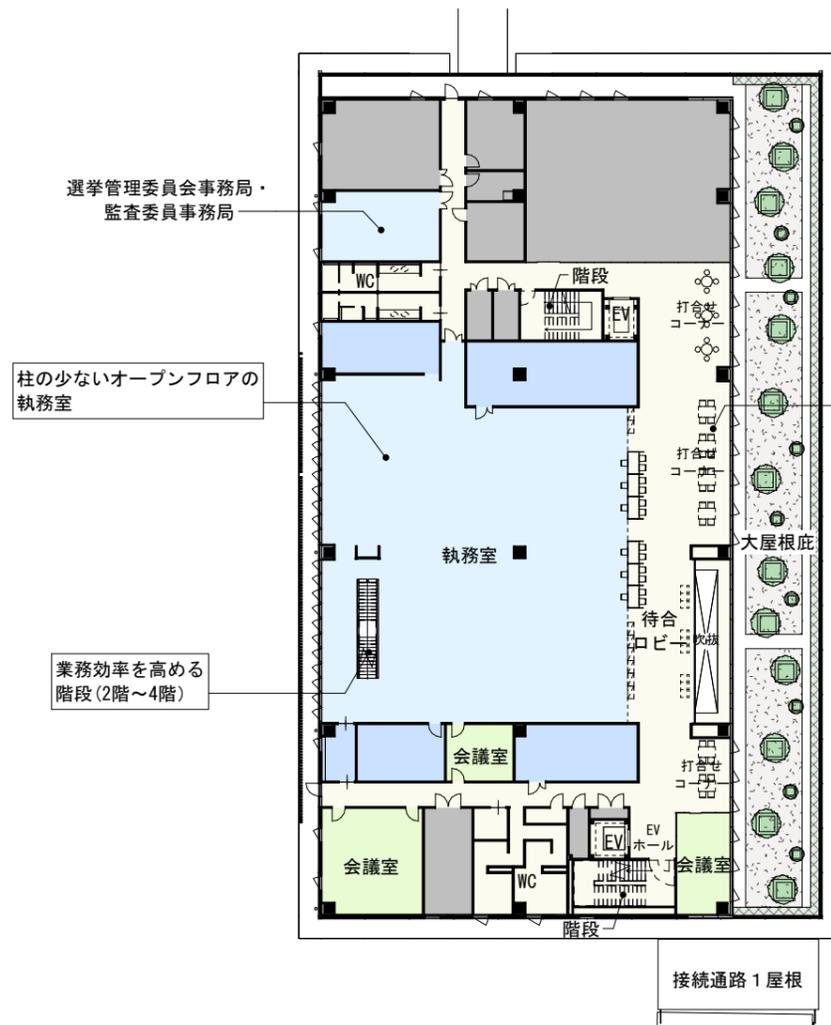
- ・1, 2階とも、庁舎出入口からわかりやすい位置に階段・エレベーターを設け、利用者の利便性に配慮します。
- ・見通しが良く、利用者が混雑、密集しないゆとりある窓口スペースを設けます。
- ・窓口に面して、虎渓用水広場を見渡せる開放的で明るい待合ロビーを計画します。
- ・2階玄関から待合ロビーを経由して駅北庁舎へとつながる、スムーズな動線を確保します。



■ 平面計画（3階、4階、5階）

● 働きやすい執務空間

- ・ 執務室は柱の少ないオープンフロアとすることで、レイアウトの自由度が高く、将来の組織改編にも柔軟に対応できる空間とします。
- ・ 執務室のある2階、3階、4階は、執務室内に階段を設け、効率的な業務連携に配慮します。
- ・ 自然採光や自然通風を取り入れ、職員の働きやすい快適な執務環境を確保することで、市民サービスの向上を図ります。
- ・ 4階は、危機管理課等と災害対策本部室を近接配置することで、災害時に迅速な対応が可能な計画とします。
- ・ 5階は議会機能を集約したフロアとします。
- ・ 議場の傍聴席には、車いす利用者スペースや親子席を設け、誰もが利用しやすい計画とします。

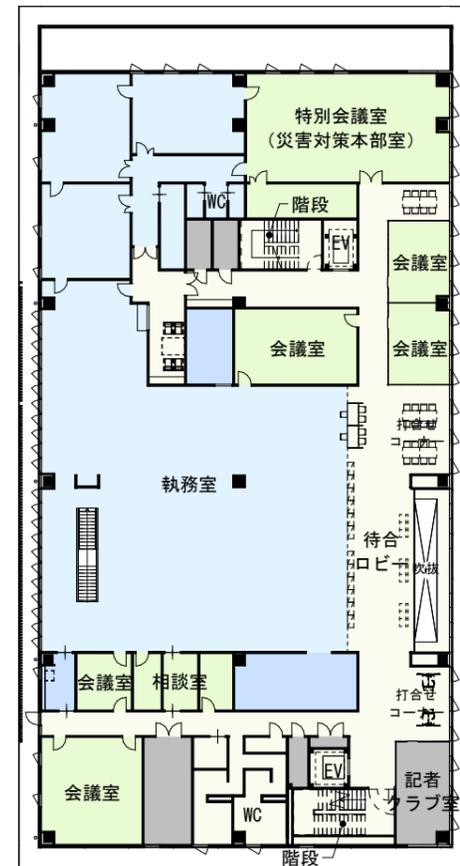


3階平面図

【配置部局】

上下水道総務課、上下水道工務課、道路河川課、用地課

虎渓用水広場に面した開放的な打合せコーナー

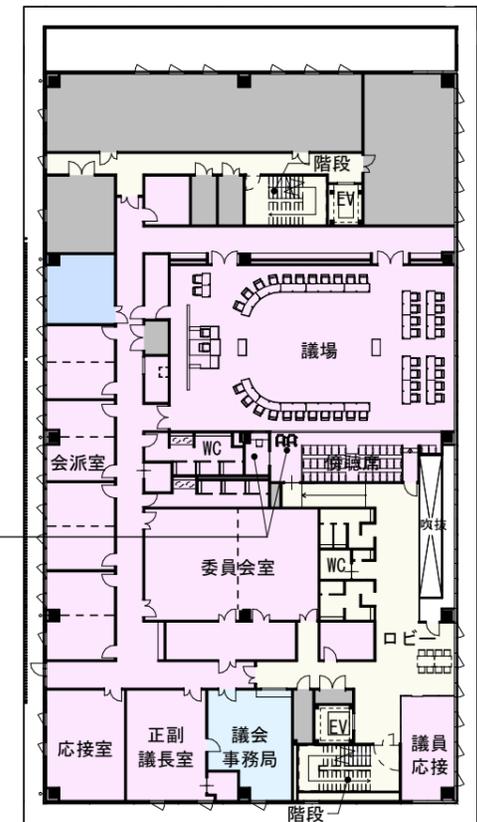


4階平面図

【配置部局】

秘書広報課、企画政策課、危機管理課、財政課、総務課、人事課、会計課

傍聴席にはだれもが利用しやすい親子席や車いす利用者スペースを設置



5階平面図



凡例

- 執務室
- 執務関連機能諸室
- 会議室・相談室
- 市議会関連諸室
- 管理諸室
- 共用部

■断面計画

● 圧迫感の低減に配慮した計画

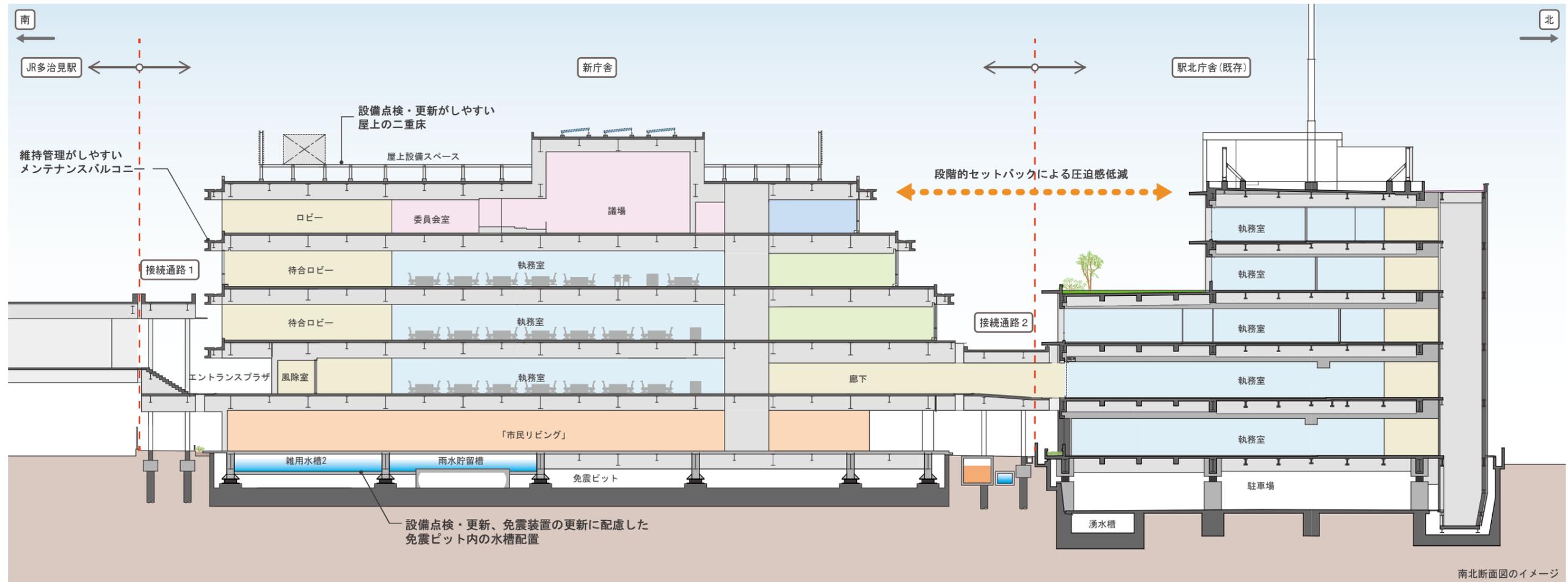
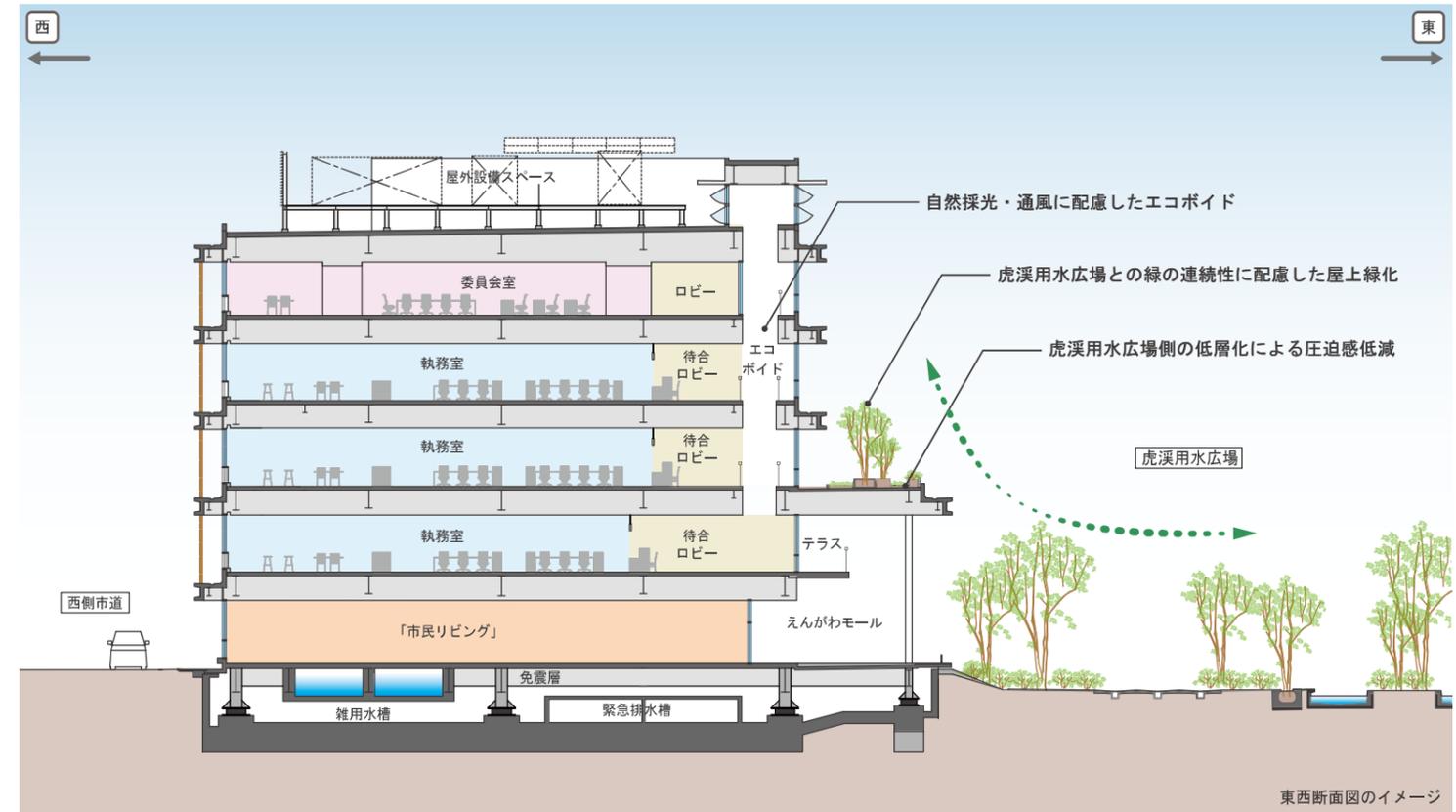
- ・ 執務空間に必要な天井高を確保したうえで、高さを抑えた5階建ての建物ボリュームとします。
- ・ 虎渓用水広場に面する東側、駅北庁舎に面する北側を段階的にセットバックして圧迫感の低減に配慮します。

● 自然採光・通風に配慮した吹抜「エコポイド」

- ・ 2～5階の待合ロビーには吹抜「エコポイド」を設け、上部に換気口を兼ねた高窓を設置することで効果的に自然採光と自然通風を確保できる計画とします。
- ・ エコポイドは、各階を視覚的に連続させ、各階空間の一体感、開放感の創出にも寄与します。

● 維持管理への配慮

- ・ 各階にメンテナンスバルコニーを設け、窓清掃等の維持管理のしやすさに配慮します。
- ・ 屋上に集約した設備機器置場を二重床とすることで、機器や配管の点検・更新を容易にします。
- ・ 免震ピット内の各水槽は、点検・設備更新がしやすく、かつ免震装置の更新時に支障のない位置とします。



- 【 凡例 】
- 「市民リビング」
 - 執務室
 - 執務関連機能諸室
 - 会議室・相談室
 - 市議会関連諸室
 - 管理諸室
 - 共用部



虎溪用水広場（東側）からの外観イメージ

■外観計画

● 立地特性を活かした駅前空間の活性化

- ・多治見駅前の新たなにぎわい空間にふさわしい外観デザインとします。
- ・東側の虎溪用水広場、西側の市道という立地特性に合わせた、「適面適所」のファサード（顔づくり）とします。

● 虎溪用水広場と連携したにぎわいと潤いの創出

- ・東面には市民利用が中心となる共用空間が面するため、屋内外の一体感が感じられる透明感のあるデザインとします。
- ・大屋根を支える列柱デザインにより、駅北庁舎との親和性にも配慮します。
- ・大屋根上部の屋上緑化により、虎溪用水広場とのつながりが感じられる計画とします。

● 多治見らしさを体現する“やきもの素材”の外観デザイン

- ・西面は、西日除けの「やきものルーバー（やきもの素材のルーバー）」を設置することで多治見らしさを体現します。
- ・メンテナンスバルコニーの水平性を活かしたデザインにより、大きな壁面を分節することで周囲に対する圧迫感低減に配慮します。



西側からの外観イメージ

■ 環境配慮計画

● 熱負荷低減

- ・屋根や外壁の断熱材、Low-E 複層ガラスの窓などにより、建物の高断熱化を図ります。
- ・メンテナンスバルコニーは庇として機能し、日射を遮る計画とします。
- ・西側外壁には、やきもの素材の西日除けルーバーを設置し、熱負荷を低減します。

● 省エネルギー

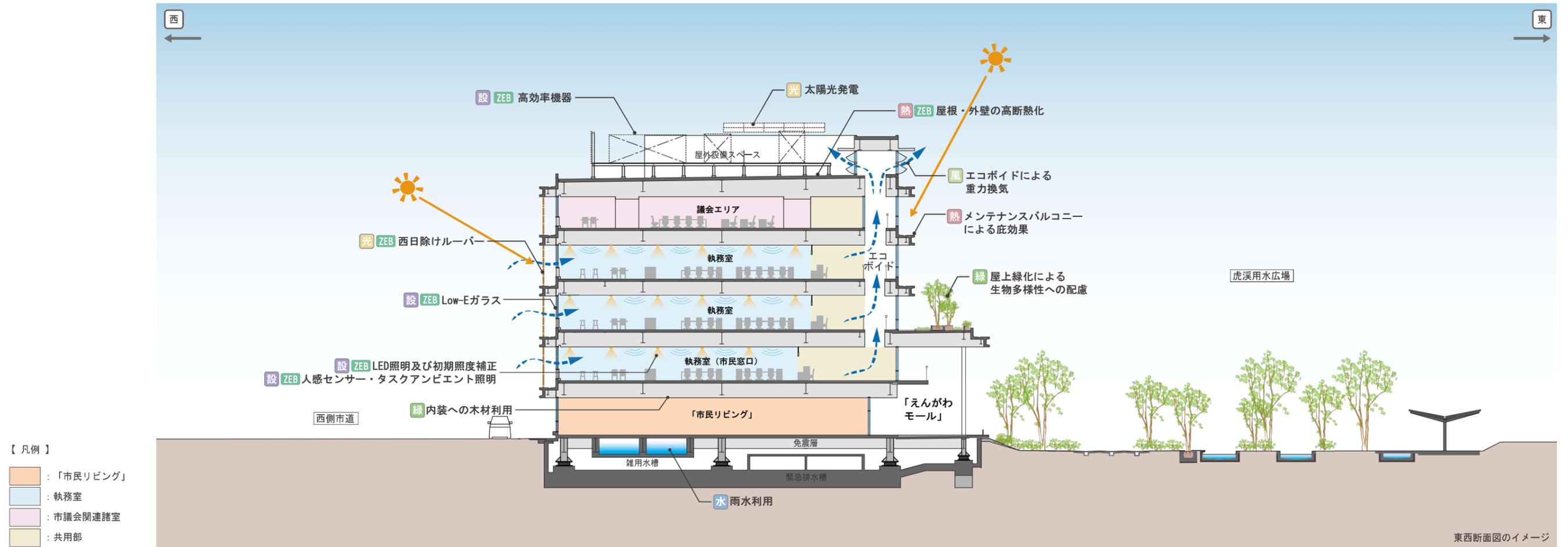
- ・タスクアンビエント照明方式を採用し、快適な執務環境を確保します。
- ・LED 照明、空調機、換気機器、衛生機器等は、高効率機器を採用します。
- ・照明、換気設備に人感・昼光センサー制御を導入し、部屋の利用に応じた点灯・運転を行います。
- ・衛生設備に節水型機器を導入します。
- ・建物高断熱化と高効率機器導入により、一次エネルギー消費量を 50%以上削減する ZEB Ready 相当の庁舎を目指します。

● 自然エネルギー利用

- ・太陽光発電設備を設置し、自然エネルギーを活用し、CO₂排出削減と持続可能なエネルギー利用を推進します。
- ・エコボイドによる煙突効果を利用した自然通風を取り入れます。
- ・屋根面の雨水を集水し、濾過処理した中水をトイレ洗浄・散水等に利用することで、上水の使用量を削減します。

● 環境共生

- ・木材や再生建材等を活用し、カーボンニュートラルに貢献します。
- ・大屋根庇の緑化により、虎渓水広場との連続性に配慮します。
- ・長寿命でリサイクル性に優れたエコマテリアルを採用し、環境負荷の低減を図ります。



■ 防災計画

● 建築計画

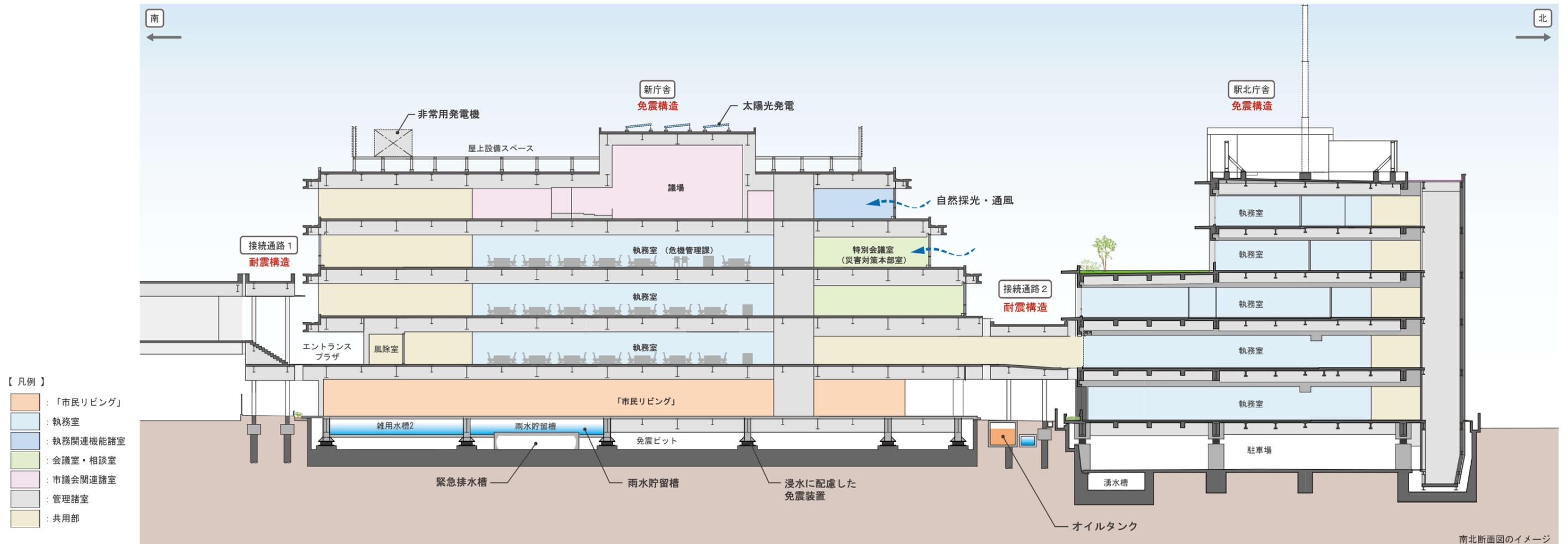
- ・災害対策本部となる特別会議室は、非常時の電源や情報通信機能を維持します。
- ・水害時の浸水に配慮し、ハザードマップ想定浸水高さを見越した1階床レベル設定とします。
- ・雨水貯留槽を利用して、雨水流出を抑制します。
- ・1階「市民リビング」は、帰宅困難者の一時待避所としても機能する計画とします。

● 構造計画

- ・新庁舎には、南海トラフ大地震や、予測不能な内陸型地震に対して建物損傷が生じず、大地震後も機能継続が可能な免震構造を採用します。
- ・免震装置は、万が一の浸水対策として金属部材の積層鉄板が露出しない「高減衰積層ゴム」を採用し、鉄部の腐食を最小限に抑える計画とします。
- ・駅北庁舎やJR多治見駅につながる接続通路1・接続通路2は、大地震時でも安全に通行できるよう、建築基準法で定める地震力の1.5倍の耐力を有する耐震構造とします。

● 設備計画

- ・災害時に必要となる非常用発電機を運転するため、最大3日分の燃料を備蓄する計画とします。
- ・災害時や停電時において必要箇所の照明およびコンセントが使用できるよう、非常用発電機と連動した回路を計画します。
- ・上水受水槽（飲料水等）、雑用水槽（トイレ洗浄水等）は、断水時でも7日分の水量を確保します。
- ・トイレ洗浄には雨水を濾過処理した中水を使用し、緊急排水槽を地下ピットに設けることで、断水時・下水道破断時でもトイレの使用が可能な計画とします。
- ・災害時に継続使用する設備及び機器等は電気方式とし、非常用発電機から電源供給する計画とします。



■ 概略スケジュール

項目	令和6年度 2024年度	令和7年度 2025年度	令和8年度 2026年度	令和9年度 2027年度	令和10年度 2028年度	令和11年度 2029年度	令和12年度 2030年度
基本設計 実施設計	●————● 基本設計・実施設計 (約22ヵ月)						
自由通路階段 解体工事			●——● 自由通路階段解体工事 (約3ヵ月)				
新庁舎 建設工事			●——● 事務手続き (約6ヵ月)	●————● 建設工事 (約31ヵ月)			
駅北庁舎 改修工事						●——● 駅北庁舎改修工事 (約3ヵ月)	
備品搬入 引越し						●——● 備品搬入・引越し (約2ヵ月)	
							● 供用開始

※実施設計や建設工事を進める中で、変更になる可能性があります。

■ 概算工事費

項目	金額
新庁舎建設工事費	73.7億円
基本設計・実施設計	2.5億円
合計	76.2億円

※上記概算工事費の他に、新庁舎建設に関連する駅北庁舎改修工事、接続通路新設工事、自由通路改修工事等に6.7億円を要します。

新庁舎の設計及び工事にかかる財源	
庁舎建設基金	30.0億円
森林環境譲与税	0.2億円
地方債	34.7億円
一般財源	11.3億円
合計	76.2億円

※実施設計や建設工事を進める中で、工事費及び財源が変更になる可能性があります。